

白鷹町エネルギー計画（案）

■問い合わせ 総務課企画調整係（☎85-6123）

▼意見

白鷹町のエネルギーの期待可採量は、46万6734GJと山形県全体の0.5%ほどしかないようですが、計算は合っていますでしょうか。白鷹町と山形県を別の指標でみると、面積は山形県の約2%、人口や世帯数もおおよそ1%です。風力発電が期待できない分、期待可採量の割合が低いのでしょうか。

▼考え方

町の計画では、県の手法等を参考にして、町の地域特性等を勘案し改めて期待可採量の試算を行いました。例えば、太陽光発電であれば、「太陽光パネルを設置する用地」を県と異なるデータを採用して試算を行っています。このことから、県の試算と町の試算とで差が生じることとなったものです。

▼意見

再生可能エネルギー導入目標は2022年度までに2万1000GJとし、町のエネルギー消費量の3%としています。もともと高い目標の方がいいのではないのでしょうか。県全体では、2020年度までにエネルギー消費量の14%を再生可能エネルギーの導入目標と定めています。

▼考え方

町の導入目標については、エネルギー戦略会議や環境審議会等において、太陽光発電やバイオマス利用等の具体的な導入規模等を見据えながら検討を重ねて、町のエネルギー消費量のおおよそ3%としたものです。また、県の開発目標には、本町において期待の小さい風力等のエネルギー分野が含まれていますが、町の導入目標については、木質バイオマス利用について積極的に見ているものの、これらの期待の小さいエネルギー分野を除いていることから、割合が低くなっているものです。

雪下ろし・落雪等による事故防止のための注意喚起

町では、1月28日に豪雪対策連絡会議を設置し、今冬の雪に対応してまいりました。

2月23日から24日にかけて、強い冬型の気圧配置の影響で断続的に雪が降り、昨年の積雪を上回る箇所もあります。

2月26日（火）現在、雪下ろし作業中の転落や除雪作業中の事故による負傷事故が3件、ハウスの被害が2棟（関係機関による把握）発生しています。

町としても、生活道路の除排雪等の安全確保に努めてまいりますので、地域の皆さまも高齢者などの見守り、消防水利の確保など地域の見守りをお願いいたします。

また、雪下ろしができない高齢者世帯等には、雪おろし費用の支給を行っています。一定の要件がありますので、民生委員・児童委員に相談の上、申請書の提出をお願いします。

今後は、暖かくなる事が予想されますので、雪下ろしの際は屋根の雪のゆるみに注意し、暖かい日の午後は特に注

意しましょう。

また、屋根からの落雪による事故も発生していますので、軒下を通る場合などは十分注意してください。

※昨シーズンの最大積雪は平成24年2月5日の測定値です。

積雪量の推移

	12月26日	1月15日	1月28日	2月25日	単位：cm	
					昨シーズン最大積雪（※）	24年2月5日の測定値です。
西高玉	65	90	105	140	165	170
西田尻	85	110	130	180	205	205
山口	85	120	140	195	200	200
深山	55	95	100	160	100	100
深藤	15	50	70	95	100	100
大瀬	50	80	80	102	140	140
高岡	34	59	63	130	116	116
中山	56	85	90	155	120	120
荒砥	20	48	49	82	75	75
細野	54	80	91	148	170	170

山形県内ではこんな事故がおきています。

《雪下ろし中にはしごから転落》
屋根に立てかけたはしごに昇る際に、はしごがずり落ちて転落し骨折。

《屋根から雪と一緒に転落》
一人で屋根の雪下ろしをしていたところ、雪と一緒に落下し大量の雪に埋もれ窒息。

《突然の屋根からの落雪、落水》
暖房機の屋外排気口の雪を取り除いている最中に、屋根から雪が落ちてきて打撲。

■問い合わせ

- 総務課 ☎85-6122
- 除雪関連 建設水道課 ☎85-6142
- 農業施設関連 産業振興課 ☎85-6127
- 雪下ろし助成 健康福祉課 ☎86-0111